

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年1月20日(土) 13時～15時30分 定員各15名

【会場】 普天間宮・新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 普天間宮初参り会（近況報告）

3. 参加者数 9人（内訳：当事者0名、家族6名、専門職3名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、新年を、迎えたので普天間宮への初参りと絵馬づくりを開催しました。天気も良く、普天間の事務所から数名一緒に歩いて普天間宮へ向かいました。手水の作法が写真添付されていて手順がとても分かりやすくなっていました。本日参加された皆さんで、参拝をし、今年一年の健康祈願をしてきました。おみくじや家族分のお守りを購入する方も…。その後は事務所にて、絵馬づくりと交流会を行いました。昨年とは違う絵馬の材料を準備し、今年の抱負について書き込み発表することとしました。介護の日常で普天間宮に初参り行きたいという要望も多く、絵馬づくりもあり時間はあっという間に過ぎましたが、皆さん満足された様子でした。

5. 所感

今回も参加者の“やりたいこと”リサーチして企画・開催しました。那覇市の地域包括支援センターから専門職の参加もあり、サロニックなカフェではなく、参加者同士でのピアカウンセリング主体のカフェを実際に見て頂けたのでは？と思います。専門職の学びの場としても受け入れております。今回のスイーツは桜餅にしました。ラッピングも可愛らしく仕上がりました♪



★次回予定：2024年2月17日(土) 以上